

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	16
所管センター	四国
分野	医療・介護・高齢化対策
研修コース名（日）	高齢者歯科
受入人数	2
受入時期	上半期
来日日	2025年5月11日（日）
帰国日	2026年2月5日（木）
提案団体（日）	国立大学法人徳島大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	http://www.tokushima-u.ac.jp/dent/
研修員必要資格	歯科医師資格
研修員に必要な 実務経験年数	歯科医師としての実務経験1年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N5
英語能力（選択）	英語でのコミュニケーション可
研修目標	高齢者歯科医療に関する先進技術の習得と最新の知見を学習する能力を身につける。
期待される成果 （習得する技術）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者歯科医療の習得 2. 最新の歯科補綴治療技術（接着ブリッジ、インプラント義歯、CAD/CAM冠など）の習得 3. 口腔顔面痛に対する治療技術の習得 4. 金属アレルギーの治療技術の習得
研修計画 （内容）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義、セミナー <ol style="list-style-type: none"> ①教室主催のセミナー ②論文抄読会 ③症例勉強会 2. 実習・演習 <ol style="list-style-type: none"> ①臨床見学、補助 ②マネキンを用いた基礎実習 ③コンピュータを利用した補綴装置の設計や削りだしの実習 3. 関連学会への参加 4. 研究への参加（高齢者に多く観察される嚥下障害の解析、睡眠時ブラキシズムの解析、組織再生、金属アレルギー解析、口腔顔面痛発症メカニズムなど） 5. 発表：内部
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	<p>徳島大学病院では一般的な高齢者歯科治療だけでなく、口腔顔面痛治療、歯科金属アレルギー治療などの先進医療とともに基礎研究も行っている。徳島大学病院で最新の高齢者歯科医療技術を習得するとともに最先端の研究に携わることにより、中南米における歯科医療技術の向上に貢献することができると予想される。また、彼らが日本の技術を中南米に持ち帰り、診断・治療を行うことにより、現地の人々と日本や日系人との信頼関係を深める効果も期待できる。</p>
応募希望者への特記事項	<p>日本では超高齢者が急増しており、高齢者歯科は他国よりも進んでいる状況です。今後、世界的に高齢者の増加が予測されておりますので、高齢者歯科をしっかりと学んでください。また、高齢者に必要な補綴歯科治療は、日本では急速に進展しております。補綴歯科に関しましてもしっかりと学修して頂くことを希望しております。語学能力に関しましては日常英会話でコミュニケーションが可能であれば、問題ありません。不明な点や内容についてもっと知りたい場合は気軽にご連絡をお願いします。</p>